

## 青森ブランド・プレゼンテーション 提案書 (記載例 1)

提案者氏名・グループ名	陸奥湾大学焼き干し研究会 代表 岩志田 四郎	
提案者 (代表者) 連絡先	住所	〒030-8570 青森市長島1-1-1
	電話番号	017-722-1111
	メールアドレス	<a href="mailto:kikaku@pref.aomori.lg.jp">kikaku@pref.aomori.lg.jp</a>

タイトル	究極の焼き干しラーメン店オープン!
提案区分 (次のうちどれか一つを選択してください。)	<input checked="" type="checkbox"/> 買ってよし <input type="checkbox"/> 訪れてよし <input type="checkbox"/> 住んでよし
プレゼンテーションの趣旨・概要 (150字以内)	青森県が誇る究極の出汁である「イワシの焼き干し」。焼き干し作りが行われている当地で、焼き干し作りからすべて自分で行って、究極の焼き干しラーメンをつくって出店し、青森の出汁を世界に発信したい。

プレゼンテーションの展開イメージ	説 明 (各 100 字以内)
① 例) 起	陸奥湾・平館海峡のイワシ焼き干しは平館や脇野沢が有名だが、蓬田や夏泊などでも作られており、県民になじみ深い、青森県が誇る究極の出汁である。
② 例) 承	焼き干しは、ひとつひとつ手作りで、その製作過程を含めて、魅力のあるコンテンツである。
③ 例) 転	国内のラーメン道を極めた名人から監修を受けながら、焼き干しづくりが始まる晩秋から冬にかけて、当地にこもり、焼き干し作りから自ら行って、究極のラーメンを作り、当地で通年出店する。冬は特に、新モノを使っていることから、値段を上げ話題性を高める。
④ 例) 結	焼き干しがもっと欲しい人と渴望する人には、プラス 100 円で、更に粉末の焼き干しをふりかけることができるようにする。もう 100 円でさらに…。こうして全国に青森の焼き干し中毒者が増えていく。
⑤ 例) 私の決意	焼き干しづくりが行われている地域は都市から離れた漁村地域で、ここでの冬の出店は、まさに味のみで勝負と言える。青森の数ある出汁を世界に発信する先導役として、「焼き干し」を世界に発信してみたい。

## 青森ブランド・プレゼンテーション 提案書 (記載例 2)

提案者氏名・グループ名	青森海産加工(株) 企画開発部 坂永 駿	
提案者 (代表者) 連絡先	住所	〒030-8570 青森市長島1-1-1
	電話番号	017-722-1111
	メールアドレス	<a href="mailto:kikaku@pref.aomori.lg.jp">kikaku@pref.aomori.lg.jp</a>

タイトル	とことん冬魚！あおもり雪中行軍ツアー
提案区分 (次のうちどれか一つを選択してください。)	<input type="checkbox"/> 買ってよし <input checked="" type="checkbox"/> 訪れてよし <input type="checkbox"/> 住んでよし
プレゼンテーションの趣旨・概要 (150字以内)	青森県は三方を海に囲まれ、冬も魚介が豊富。これを生かして国内外から青森県を訪れてもらうために、本県ならではの内容で、冬の魚介を堪能するツアーを行い、冬の魅力を発信する。

プレゼンテーションの展開イメージ	説 明 (各 100 字以内)
① 例) 起	ヒラメ、マグロ、アンコウ、タラ、ナマコ、タコ、ヤリイカ、サメ、ゴッコ・・・青森は、冬も魚介がすごいんです。青森に旅行に来た際は、豊富な魚介を全部食べ尽くしていただきたい。
② 例) 承	そこで、真冬の最中に県内全域を巡って魚介を食べ歩く、名付けて「とことん冬魚！あおもり雪中行軍ツアー」を実施する。
③ 例) 転	発地は例えば、①深浦、②八戸、③大間の3隊編成とし、それぞれ県内を10日程度で巡り、その進軍行程も示しながら、魚料理を満喫し、発信してもらう。基本的には公共交通を使いながら移動し、途中で3隊の合流もあり。
④ 例) 結	外は寒風吹きすさぶ中、暖かい鍋もよし、刺身で一杯やるもよし。まさに至福の瞬間。地元の人と触れ合いながら10日も滞在すれば、きっとあなたも青森人。食以外のオプションも多彩に揃えたい。
⑤ 例) 私の決意	当社は海産物を扱っている会社だが、青森県の冬の魚種の豊富さをPRし、また、映画「八甲田山」の出演俳優の知名度も利用して、アジア地域にも青森県の冬と魚の魅力を発信し、ツアーを青森の冬の名物とし、青森県の魚の消費増にもつなげたい。

## 青森ブランド・プレゼンテーション 提案書 (記載例 3)

提案者氏名・グループ名	青森県をアートで元気にする会 持部 鷹丸	
提案者 (代表者) 連絡先	住所	〒030-8570 青森市長島1-1-1
	電話番号	017-722-1111
	メールアドレス	<a href="mailto:kikaku@pref.aomori.lg.jp">kikaku@pref.aomori.lg.jp</a>

タイトル	「芸術の冬・青森」お試し移住・成果発表会
提案区分 (次のうちどれか一つを選択してください。)	<input type="checkbox"/> 買ってよし <input type="checkbox"/> 訪れてよし <input checked="" type="checkbox"/> 住んでよし
プレゼンテーションの趣旨・概要 (150字以内)	青森県の厳しい冬は、芸術活動にはもってこい？ 芸術家のお試し移住・創作活動を通じて、冬の青森「住んでよし」を国内外に発信し、県外から多くの移住、定住につなげたい。

プレゼンテーションの展開イメージ	説 明 (各 100 字以内)
① 例) 起	移住希望者にとって、北国への移住は、冬のイメージがネックとなっている人も多いと思う。
② 例) 承	しかし、青森の冬が織り成す一面の銀世界と静寂は、雑念が入らない「無」の境地であり、このような環境は特に芸術家にとって集中力が増し、インスピレーションを1割2割と押し上げてくれそうだ。
③ 例) 転	そこで、その実証として、雪の降らないエリアに住んでいる小説家や画家などの芸術家を募集し、冬期間、例えば八甲田・十和田エリアや岩木エリアなどで別荘を借上げてもらい、創作してもらおう。
④ 例) 結	創作過程から日々発信してもらい、成果を発表するとともに、「いつもより何割増しました！」と、あくまで自己判定(?)により、県内美術館等の協力も得て、展示・発表してもらおう。
⑤ 例) 私の決意	多くの芸術家・文学家を輩出している青森県。その理由は冬にあった？この取組で「青森の冬」は「芸術の冬」であることをPRして芸術家の二地域居住を促し、最終的には定住につなげていきたい。